

2023年度

エコアクション21

環境経営レポート

活動期間 2023年6月～2024年5月



十条ステン工業株式会社

発行日 2024年12月19日 EA21実行委員

環境経営方針

【基本理念】

当社は精密板金加工を基軸に、様々な生産活動を行っております。
私どもの強みはスピード感のある対応と、少数精鋭による団結力です。
品質の向上、納期の短縮など、課題解決には全社員一丸となって取り組んでおります。
経営における課題とチャンスとを踏まえ、かつ環境に優しい安全安心な製品作りのために、
社員の教育、技術の習得、社内環境改善に、積極的に取り組んでまいります。

【活動指針】

- 1、事業活動において資源を大切に省エネルギーや資源循環に取り組みます。
- 2、次の事項を重点的テーマとして具体的に目標を設定し、取り組みます。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減に取り組みます。
 - ② 廃棄物の削減及び再生利用化に取り組みます。
 - ③ 水使用量の削減に取り組みます。
 - ④ 環境に配慮した製品作りに取り組みます。
 - ⑤ 地域貢献に取り組みます。
- 3、環境関連法令を遵守します。
- 4、環境経営方針を全従業員に周知徹底し環境保全に関する知識の向上を図ります。
- 5、この環境経営方針及び環境経営レポートを公開します。

経営理念

精密板金加工技術を基軸に、SDGs・実現の担い手として
常に向上心を持ち、持続可能な企業を目指し社会に貢献します。

行動規範

- 一、常にお客様の立場に立ち、迅速に誠実に行動します。
- 一、環境に配慮した安心安全な物作りで、地域社会に貢献します。
- 一、5S活動を推進し、より良い環境で優れた製品作りに尽力します。
- 一、自分の仕事に誇りを持ち、技術の向上、自己啓発に励みます。
- 一、健康管理に力を入れ、従業員の健康維持・増進に取り組みます。
- 一、共に支え合い、出産育児・介護等を応援する職場を目指します。
- 一、会社の発展に伴い、従業員とその家族の生活向上を目指します。

2023年4月1日

代表取締役 村上 信二

目次

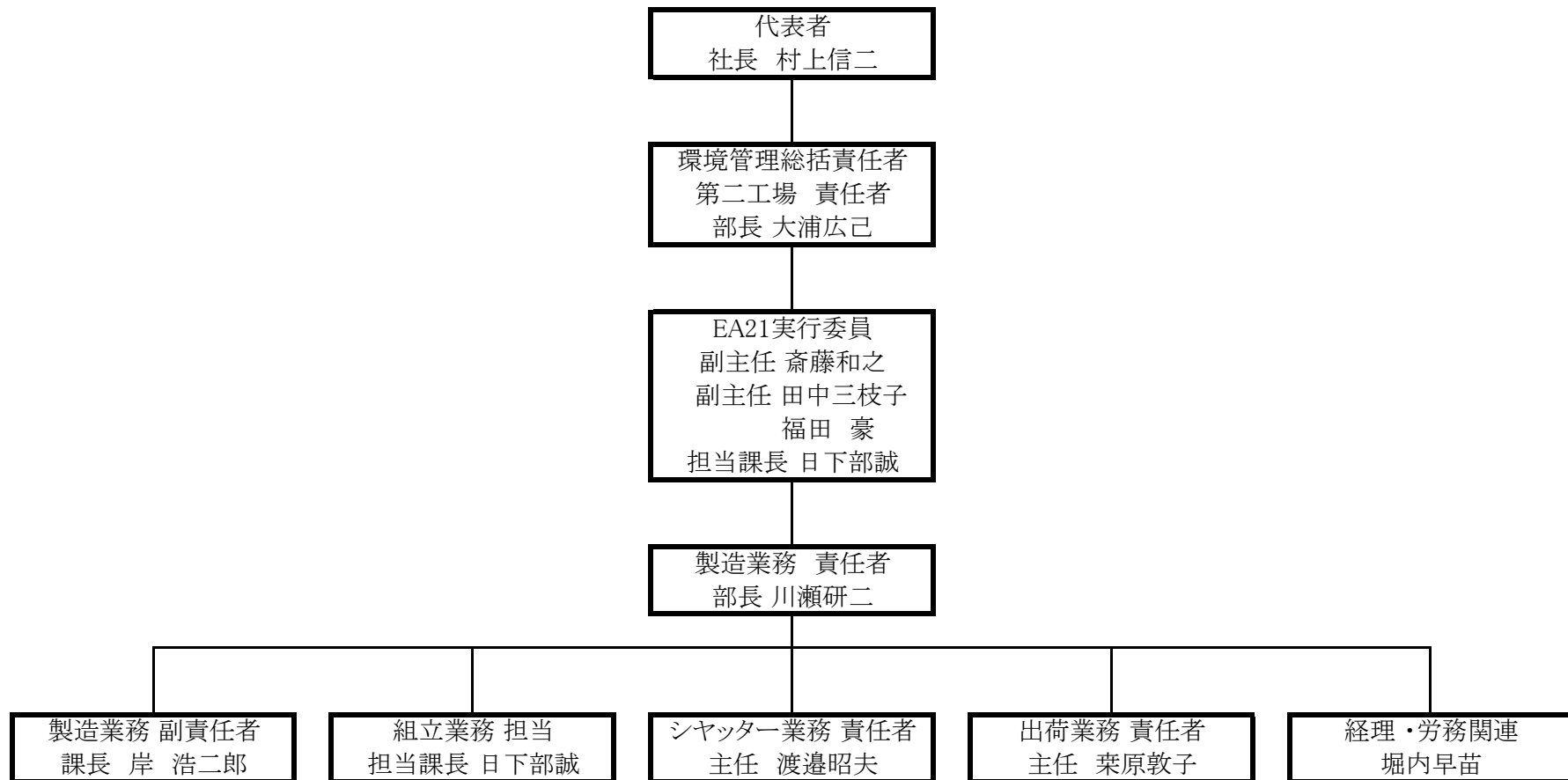
ページ

I．登録事業所の概要・・・・・・・・・・・・・・・・	3
II．実施体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
III．環境経営の取り組み結果とその評価、次年度の取り組み内容 ① ②・・・・・・・・	5－6
IV．今年度の環境経営の目標と計画 ① ②・・・	7－8
次年度の環境経営の目標と計画 ③ ④・・・	9－10
V．環境関連法規制等の遵守 状況・・・・・・・・	11
VI．代表者による全体評価と見直し・指示・・・・・・・・	12
VII．SDGsの目標・・・・・・・・	13

I. 登録事業所の概要

事業所	十条ステン工業株式会社		
代表者	代表取締役 社長 村上 信二		
所在地	本社工場 〒332-0003 埼玉県川口市東領家5丁目 7番地19号		
	第二工場 〒332-0003 埼玉県川口市東領家5丁目22番地13号		
ホームページ	http://www.j-s-k.jp/		
環境管理統括責任者	環境管理統括責任者 部長 大浦 広己		
担当者・連絡先	エコアクション21 実行委員・担当課長	日下部 誠 TEL: 048-222-5733 FAX: 048-222-5732 e-mail: m. kusakabe@j-s-k.jp	
事業内容	ステンレス他、金属の精密板金、ヘアーライン加工などの製造・販売		
事業規模	設立年月日 1963年9月15日		
	2023年度売上実績	(2023年6月～2024年5月)	674 百万円
	主要製品年間生産量	(活動期間 2023年6月～2024年5月)	151 トン
	従業員数	26名 正規従業員数 21名	パート従業員数 5名
	事業所延べ床面積	本社工場 490㎡	第二工場 297㎡
登録対象範囲	十条ステン工業株式会社 本社工場・第二工場の事業所		
認証・登録番号	エコアクション21 0006601		
認証・登録日	2011年2月9日		
更新・登録日	2023年2月9日		
有効期限	2025年2月8日		
要求事項	エコアクション21 ガイドライン2017年版(環境省)		
認証・登録機関	一般財団法人 持続性推進機構 エコアクション21中央事務局		

Ⅱ.実施体制



Ⅲ. 2023年度 環境経営計画の取り組み結果とその評価、今年度の取り組み内容-①

環境活動の取り組み内容			基準年度値	2023年度 環境経営の目標・実績・評価 (2023年6月～2024年5月)				
			2020年度実績	目標	実績	取り組み評価 (◎○△×)	次年度の取り組み計画	
活動の取り組み計画		単位						
二酸化炭素 排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO2	44,033	42,272	31,329	◎	・最大需要電力の監視を徹底 ・実行委員が中心となり、 全従業員の意識が向上、今年 度も受注が多く仕事量も増えた ・削減ができました	・最大需要電力の数値を 見える化にして周知徹底 ・非稼働設備の待機電力を 削減する
	2023年度以降は、0.395 kg-CO2/kWh	総生産量(t)	128	—	151			
	ミツウロコグリーンエネルギー(株)	kg-CO2/t	344.0	330.2	207.4			
	(令和3年度実績-令和5年1月24日環境省・ 経済産業省公表)	%	100	96 (-4% 減)	62.80			
	節電(購入電力使用量)	kWh	80,848	77,614	71,444	◎	・こまめに消灯する意識が 向上し効果があった ・夏、冬場の冷暖に関しては クールビズ、ウォームビズ等 で効果があった ・冷暖房はスポット的な機器 を活用し効果があった	・不要なエリアの消灯を取組む ・扇風機等の省エネ器具、 グッズ等の活用をする ・エアコン温度設定の検討 ・クールビズに取組む ・ウォームビズ化に取組む
	a. 使用していないエリアは消灯	総生産量(t)	128	—	151			
	b. 空調設定(冷房27℃・暖房23℃)	kWh/t	632.0	606.7	473.1			
	c. 省エネ照明器具の推進(LED・人感センサー)	%	100	96 (-4% 減)	78.00			
	d. 電気自動車の導入に取組む							
	e. 太陽光発電の活用							
	自動車燃料(ガソリン購入量)	ℓ	1,969	1,890	1,983	◎	・軽自動車1台、ハイエース1台 となり使用した 削減に努力が実りました 納品回数の増加を考え、 効率よくホワイトボードを活用	・再度、効率化をする ・エコドライブに取組む ・社員のエコカー購入に取組む ・納品行先の手順を図る ホワイトボードを効率よく活用
	a. 輸送納品回数の効率化	総生産量(t)	128	—	151			
	b. エコドライブの推進(アイドリングストップ)	ℓ/t	15.4	14.7	13.1			
	c. 燃費の良い車の購入(エコカー) 電気自動車の導入	%	100	96 (-4% 減)	89.10			
	暖房(灯油購入量)	ℓ	990	950	216	◎	・2014年度より数値化する 受注量が増え、寒さの気温 低下等があったが、購入量の 削減ができました	・本社工場のみ使用 ・第二工場は使用禁止 ・防寒着、グッズ等の活用 ・継続的に取組む
	a. スポット暖房(石油ストーブ活用)	総生産量(t)	128	—	151			
		ℓ/t	7.73	7.42	1.43			
		%	100	96 (-4% 減)	19.20			
	ディーゼルトラック(軽油購入量)	ℓ	835	802	916.22	○	・ディーゼル車の使用増加 大型製品が多くなり 現場対応が増えた為	・効率化に取組む ・エコドライブに取組む
	a. 輸送納品回数の効率化	総生産量(t)	128	—	151			
	b. エコドライブの推進(アイドリングストップ)	ℓ/t	6.52	6.25	6.06			
	c. 災害時の輸送などに役立つ	%	100	96 (-4% 減)	97.00			
廃棄物 焼却 処分量 ①	廃棄物処理(事業系一般)	kg	620	595	690	○	・受注が多く資源使用量が増加 した為、廃棄量が削減 ・再利用、節約意識が向上して 削減ができました ・分別の意識が向上した	・継続的に取組む ・資源再利用、節約意識を 強化する
	a. 社内IT化(ペーパーレス化)に取組む	総生産量(t)	128	—	151			
	b. 資源の再利用(新聞等を包装に使用)	kg/t	4.84	4.64	4.56			
	c. コピー紙の節約(裏紙利用の徹底)	%	100	96 (-4% 減)	98.30			
	d. 分別の徹底(一般廃棄物)							

評価: ◎100%以上 良くてきた ○80～99% まあまあできた △60～79% あまりできなかった ×60%未満 全くできなかった

Ⅲ. 2023年度 環境経営計画の取り組み結果とその評価、今年度の取り組み内容-②

環境活動の取り組み内容			基準年度値	2023年度 環境経営の目標・実績・評価 (2023年6月～2024年5月)			
			2020年度実績	目標	実績	取り組み評価 (◎○△×)	次年度の取り組み
活動の取り組み計画		単位					
廃棄物 破碎 処分量 ②	廃棄物処理(産業廃棄物)	kg	2,600	2,496	2,730	◎ ・受注量が多く増加したが、廃棄 量が削減努力した ・残材利用、不良低減していく ・更に分別意識に取り組む	・継続的に取り組む ・残材利用、不良低減 の強化をする
	a. 材料分別ボックスの設置	総生産量(t)	128	—	151		
	b. 不良削減による廃棄量の効率化	kg/t	20.3	19.48	18.07		
	c. 製品及び部品の過剰在庫を削減 分別の徹底(産業廃棄物)	%	100	96 (-4% 減)	92.76		
水 使用量	節水(上下水道使用量)	m ³	227	218	206	◎ ・節水に心がける意識が向上 し効果があった ・実行委員が中心となり、 取り組みの意識が向上した	・継続的に取り組む
	a. 節水の推進運動(ポスター掲示等)	総生産量(t)	128	—	151		
	b. 洗濯機での洗濯回数は週1回	m ³ /t	1.77	1.69	1.36		
	c. 水循環型の設備導入、雨水利用の再生化	%	100	96 (-4% 減)	80.47		
原材料 の歩留 まり 向上	歩留まり向上	歩留まり率				◎ ・必要材料の購入をした ・廃材利用でリピート部品の 製作に努力した ・製作構造、材料変更、コスト 削減等の取り組み	・不良削減による廃棄 量の効率化をする ・継続的に取り組む
	a. 歩留まり向上、廃材の削減	%	60	65	84		
	b. 再利用化に取り組む	金属類	(%)	(+5% 増)	(+19% 増)		
	c. 工程管理手順の見直し	(購入量－廃棄量) ÷購入量＝実績					
環境に 配慮し た製品作 り	環境に配慮した製品作り	取り組み 提案件数				◎ ・全て再生紙に変更している ・異種材料の統一化、同一材 料で再生しやすい製品に 取り組みを実施した	・継続的に取り組む (努力目標)
	a. 材質・種類の統一化を図る	(4件以上)	(4件以上)	(4件)			
	b. 再生利用化が出来る製品開発に取り組む						
	c. 環境に優れたオリジナル商品開発に取り組む d. 製品不良・ミスを削減						
社会 貢献 活動	地域への貢献(a～eは、自粛・延期)	取り組み 活動人数				◎ ・清掃活動の取り組みの意識 が向上したが、現在は自粛 ・ペットボトルキャップ収集は 継続的に今後も活動する ・イベントに積極的参加する (コロナ禍の影響で自粛)	・継続的に取り組む (努力目標)
	a. 会社周辺の清掃活動(第三木月1回)	%	活動人数100%	活動人数100%	(活動人数 26人)		
	b. 社内工場見学・職場体験を積極的に実施				100%		
	c. 会社周辺の児童登下校時の安全パトロール d. ペットボトルキャップの寄付 e. 町会主催のイベントに参加 f. 川口市地域貢献事業者認定(更新3回)						

評価: ◎100%以上 良くてきた ○80～99% まあまあできた △60～79% あまりできなかった ×60%未満 全くできなかった

IV. 今年度の環境経営の目標と計画-①

環境活動の取り組み内容			基準年度値	環境活動目標値		
活動の取り組み計画		単位	2020年度実績	2021年度目標	2022年度目標	2023年度目標
二酸化炭素 排出量	二酸化炭素排出量 a. 2023年度以降は、0.395 kg-CO ₂ /kWh ミツウロコグリーンエネルギー(株) (令和3年度実績-令和5年1月24日環境省・ 経済産業省公表)	kg-CO ₂ 総生産量(t) kg-CO ₂ /t %	44,033 128 344.0 100	43,152 — — 98 (-2% 減)	42,712 — — 97 (-3% 減)	42,272 — — 96 (-4% 減)
	節電(購入電力使用量) a. 使用していないエリアは消灯 b. 空調設定(冷房27℃・暖房23℃) c. 省エネ照明器具の推進(LED・人感センサー) d. 電気自動車の導入を推進	kWh 総生産量(t) kWh/t %	80,848 128 632.0 100	79,231 — — 98 (-2% 減)	78,422 — — 97 (-3% 減)	77,614 — — 96 (-4% 減)
	自動車燃料(ガソリン購入量) a. 輸送納品回数の効率化 b. エコドライブの推進(アイドリングストップ) c. 燃費の良い車の購入(エコカー) d. 電気自動車の導入 e. 太陽光発電の活用	ℓ 総生産量(t) ℓ/t %	1,969 128 15.4 100	1,930 — — 98 (-2% 減)	1,910 — — 97 (-3% 減)	1,890 — — 96 (-4% 減)
	暖房(灯油購入量) a. スポット暖房(石油ストーブ活用)	ℓ 総生産量(t) ℓ/t %	990 128 7.73 100	970 — — 98 (-2% 減)	960 — — 97 (-3% 減)	950 — — 96 (-4% 減)
	ディーゼルトラック(軽油購入量) a. 輸送納品回数の効率化 b. エコドライブの推進(アイドリングストップ) c. 災害時の輸送などに役立つ	ℓ 総生産量(t) ℓ/t %	835 128 6.52 100	818 — — 98 (-2% 減)	810 — — 97 (-3% 減)	802 — — 96 (-4% 減)
	廃棄物処理(事業系一般) a. 社内IT化(ペーパーレス化)の推進 b. 資源の再利用(新聞等を包装に使用) c. コピー紙の節約(社内文書は裏紙利用の徹底) d. 分別の徹底(一般廃棄物)	kg 総生産量(t) kg/t %	620 128 4.84 100	608 — — 98 (-2% 減)	601 — — 97 (-3% 減)	595 — — 96 (-4% 減)
	廃棄物 焼却 処分量 ①					

IV. 今年度の環境経営の目標と計画-②

環境活動の取り組み内容			基準年度値	環境活動目標値		
			2020年度実績	2021年度目標	2022年度目標	2023年度目標
活動の取り組み計画		単位				
廃棄物 破碎 処分量 ②	廃棄物処理(産業廃棄物)	kg	2,600	2,548	2,522	2,496
	a. 材料分別ボックスの設置	総生産量(t)	128	—	—	—
	b. 不良削減による廃棄量の効率化	kg/t	20.3	—	—	—
	c. 製品及び部品の過剰在庫を削減	%	100	98 (-2% 減)	97 (-3% 減)	96 (-4% 減)
	d. 分別の徹底(産業廃棄物)					
用水 使用量	節水(上下水道使用量)	m ³	227	222	220	218
	a. 節水の推進運動(ポスター掲示等)	総生産量(t)	128	—	—	—
	b. 洗濯機での洗濯回数は週1回	m ³ /t	1.77	—	—	—
	c. 水循環型の設備導入、雨水利用の再生化	%	100	98 (-2% 減)	97 (-3% 減)	96 (-4% 減)
原材料 の歩留 まり 向上	歩留まり向上	歩留まり率	60%	62	64	65
	a. 歩留まり向上、廃材の削減	%	(以上)	(+2% 増)	(+4% 増)	(+5% 増)
	b. 再利用化の推進	金属類				
	c. 工程管理手順の見直し	(購入量－廃棄量) ÷購入量＝実績				
環境に 配慮した 製品作り	環境に配慮した製品作り	取り組み 提案件数	(4件以上)	(4件以上)	(4件以上)	(4件以上)
	a. 材質・種類の統一化を図る					
	b. 再生利用化が出来る製品開発の推進					
	c. 環境に優れたオリジナル商品開発の推進					
	d. 製品不良・ミスを削減					
社会 貢献 活動	地域への貢献(自粛)	取り組み 活動人数				
	a. 会社周辺の清掃活動(第三木月1回)	%	(活動人数100%)	(活動人数100%)	(活動人数100%)	(活動人数100%)
	b. 社内工場見学・職場体験を積極的に実施					
	c. 会社周辺の児童登下校時の安全パトロール					
	d. ペットボトルキャップの寄付					
	e. 町会主催のイベントに参加					

IV. 次年度の環境経営の目標と計画-③

環境活動の取り組み内容			基準年度値	環境活動目標値		
活動の取り組み計画		単位	2023年実績	2024年度目標	2025年度目標	2026年度目標
二酸化炭素排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO2	31,329	30,702	30,389	30,076
	a. (二酸化炭素排出係数	総生産量(t)	151	—	—	—
	ミツウロコグリーンエネルギー(株)	kg-CO2/t	207.4	—	—	—
	2023年度以降は、0.395 kg-CO2/kWh	%	100	98 (-2% 減)	97 (-3% 減)	96 (-4% 減)
	節電(購入電力使用量)	kWh	71,444	70,015	69,301	68,586
	a. 使用していないエリアは消灯	総生産量(t)	151	—	—	—
	b. 空調設定(冷房27℃・暖房23℃)	kWh/t	473.1	—	—	—
	c. 省エネ照明器具の推進(LED・人感センサー)	%	100	98 (-2% 減)	97 (-3% 減)	96 (-4% 減)
	d. 電気自動車の導入を推進					
	自動車燃料(ガソリン購入量)	ℓ	1,983	1,943	1,924	1,904
	a. 輸送納品回数の効率化	総生産量(t)	151	—	—	—
	b. エコドライブの推進(アイドリングストップ)	ℓ/t	13.1	—	—	—
	c. 燃費の良い車の購入(エコカー)	%	100	98 (-2% 減)	97 (-3% 減)	96 (-4% 減)
	d. 電気自動車の導入					
	e. 太陽光発電の活用					
廃棄物 焼却 処分量 ①	暖房(灯油購入量)	ℓ	216	212	210	207
	a. スポット暖房(石油ストーブ活用)	総生産量(t)	151	—	—	—
		ℓ/t	1.43	—	—	—
		%	100	98 (-2% 減)	97 (-3% 減)	96 (-4% 減)
	ディーゼルトラック(軽油購入量)	ℓ	916.22	898	889	880
	a. 輸送納品回数の効率化	総生産量(t)	151	—	—	—
	b. エコドライブの推進(アイドリングストップ)	ℓ/t	6.06	—	—	—
	c. 災害時の輸送などに役立つ	%	100	98 (-2% 減)	97 (-3% 減)	96 (-4% 減)
	廃棄物処理(事業系一般)	kg	690	676	669	662
	a. 社内IT化(ペーパーレス化)の推進	総生産量(t)	151	—	—	—
	b. 資源の再利用(新聞等を包装に使用)	kg/t	4.56	—	—	—
	c. コピー紙の節約(社内文書は裏紙利用の徹底)	%	100	98 (-2% 減)	97 (-3% 減)	96 (-4% 減)
	d. 分別の徹底(一般廃棄物)					

IV. 次年度の環境経営の目標と計画-④

環境活動の取り組み内容			基準年度値	環境活動目標値		
			2023年度実績	2024年度目標	2025年度目標	2026年度目標
活動の取り組み計画		単位				
廃棄物 破碎 処分量 ②	廃棄物処理(産業廃棄物)	kg	2,730	2,675	2,648	2,621
	a. 材料分別ボックスの設置	総生産量(t)	151	—	—	—
	b. 不良削減による廃棄量の効率化	kg/t	18.02	—	—	—
	c. 製品及び部品の過剰在庫を削減	%	100	98 (-2% 減)	97 (-3% 減)	96 (-4% 減)
	d. 分別の徹底(産業廃棄物)					
用水 使用量	節水(上下水道使用量)	m ³	206	202	200	198
	a. 節水の推進運動(ポスター掲示等)	総生産量(t)	151	—	—	—
	b. 洗濯機での洗濯回数は週1回	m ³ /t	1.36	—	—	—
	c. 水循環型の設備導入、雨水利用の再生化	%	100	98 (-2% 減)	97 (-3% 減)	96 (-4% 減)
原材料 の歩留 まり 向上	歩留まり向上	歩留まり率	60%	62	64	65
	a. 歩留まり向上、廃材の削減	%	(以上)	(+2% 増)	(+4% 増)	(+5% 増)
	b. 再利用化の推進	金属類				
	c. 工程管理手順の見直し	(購入量－廃棄量) ÷購入量＝実績				
環境に 配慮した 製品作り	環境に配慮した製品作り	取り組み 提案件数	(4件以上)	(4件以上)	(4件以上)	(4件以上)
	a. 材質・種類の統一化を図る					
	b. 再生利用化が出来る製品開発の推進					
	c. 環境に優れたオリジナル商品開発の推進					
	d. 製品不良・ミスを削減					
社会 貢献 活動	地域への貢献(自粛)	取り組み 活動人数				
	a. 会社周辺の清掃活動(第三木月1回)	%	(活動人数100%)	(活動人数100%)	(活動人数100%)	(活動人数100%)
	b. 社内工場見学・職場体験を積極的に実施					
	c. 会社周辺の児童登下校時の安全パトロール					
	d. ペットボトルキャップの寄付					
	e. 町会主催のイベントに参加					

V. 環境関連法規制等の遵守状況及び違反・訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

法規制	該当する項目	判断・確認	遵守状況
下水道法	・下水道を使用している ・市の条例で定める基準に適合しない排水	トイレ・流しには特別なものは流していない	○
騒音・振動規制法	・液圧プレス、機械プレス(294kN 以上) ・市の条例、川口市登録届出書済み、平成24年8月20日 ・公害防止監督者(埼玉県生活環境保全条例第113条第3項) ・公害防止監督者と代理者届出済み、平成24年8月20日 ・公害防止監督者(埼玉県生活環境保全条例第113条第3項) ・公害防止主任者と代理者届出済み、平成24年8月20日 ・地域別騒音基準の遵守 (法6条 規4条) ・地域別振動基準の遵守 (法6条 規12条)	変更なし 変更なし 変更なし	○
廃棄物処理法	・委託基準: 廃棄物処理契約書、委託先業者の許可書確認 (法12条・則8の2条～4条の2) ・保管基準: 廃棄物置場の表示 ・マニフェスト交付 (法12条の3 ①) ・産業廃棄物管理票交付等の状況報告書の提出 (法12条の3 ⑥) ・水銀使用製品廃棄物の委託 (則8の4の2) ・水銀使用製品廃棄物の保管 (則8;1、1)	届出書の発行 契約・許可書の確認 許可期限の確認 報告書の確認 委託契約書にその旨記載 仕切りを設ける 掲示板にその旨記載	○
家電リサイクル法	・家庭用機器(テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機等) (法6条)	更新なし	○
自動車NOx・PM法	・ディーゼルトラック 2.0トン 1台 (2023年8月新車購入) ・ハイエース 1台 (2020年3月購入) (法12条、令4条、規3条)	活動計画による 更新なし	○
自動車リサイクル法	・軽ワンボックス 1台 (2012年8月17日購入) ・商用貨物 計3台を所有 ・(法5条 8条)	活動計画による 更新なし 更新なし	○
フロン排出抑制法	・フロン類の適切な処理 ・第一種特定製品圧縮機 (法41条)	銘板の確認 簡易点検の実施	○

●環境関連法規制等の遵守は、定期評価の結果、環境法規制との逸脱はありませんでした。

●過去3年間、今年度(2023年度)にわたって違反や訴訟は発生していません。

VI. 代表者による全体評価の見直し・指示

● 環境経営方針

- ・ 今年度の電気使用量については、削減努力の取り組みが出来ました。
- ・ 必要な材料を購入し在庫ゼロを目指したことにより、歩留まり率目標値は前年より上がりました。(＋19%増)
- ・ 社会貢献活動のペットボトルキャップ収集は足立区に寄付、提供した90kg 約45,000個 ポリオワクチン約67.2人分に相当。(令和5年12月27日)

● 環境経営目標及び環境経営計画

- ・ 2023年度(2023年6月から2024年5月迄)活動期間の1年間に於いての環境経営計画に基づき実施できました。
- ・ コロナ禍の影響もありましたが、今年度は受注、生産量が多く、業績も前年度より上がりました。目標と計画の状況については、概ね良好の結果でした。
- ・ 2023年1月本社工場、「太陽光パネル設置」が完了し現在、発電を継続している。
- ・ 省エネ照明器具の取組み(LED・人感センサー等)
- ・ 社内IT化(ペーパーレス化)の実行を継続している。
- ・ 社内工場見学・職場体験を積極的に実施を目標とする。

● 実施体制の見直し

- ・ 更に取り組み意識の向上を目指し提案活動の活発化を促していきたい。
- ・ 作業ミスなどのムダを無くし不良削減に努力する。
- ・ 作業時間の効率化を図り、品質向上に取り組んでいく。
- ・ 5S活動、地域貢献活動、地域の行事に参加に取り組んでいく。

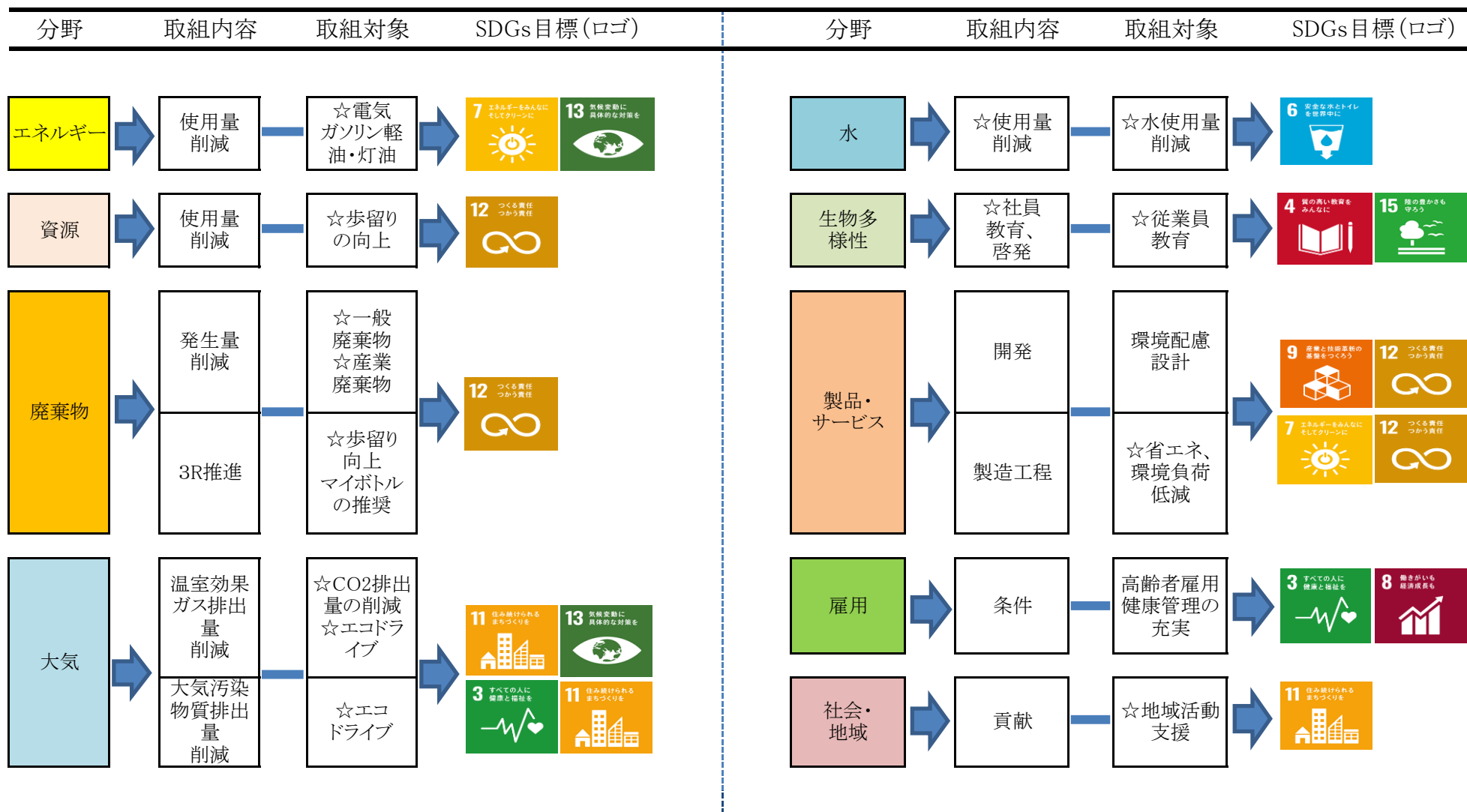
● その他取り組み

- ・ 埼玉県SDGsパートナー登録証、登録番号:第734号、登録期間:令和4年7月31日から令和7年7月30日
- ・ 令和5年9月15日 創立60周年記念行事 東京ドームホテル42階スカイバンケットルーム
- ・ 埼玉県多様な働き方実践企業として認定 令和6年3月31日～令和11年3月31日
- ・ 埼玉県森林CO₂吸収量認定書:認定内容の有効期間は、令和6年3月31日～令和11年3月31日まで
- ・ 川口市地域貢献事業者認定(更新3回) 認定期間、令和6年11月1日～令和9年10月31日(3年間)
- ・ 健康優良企業認定証(認定期間:令和6年6月1日～令和9年5月31日)



VII. SDGsの取り組み・目標

(☆印:エコアクション21の取組を含む)



◆埼玉県SDGsパートナー登録証 / 登録期間: 令和4年7月31日から令和7年7月30日まで

環境省SDGsガイド(第2版)参照

◆登録番号: 第734号